

ひろば通信 2月号

こんにちは。立春になったのに、まだまだ寒い日が続いています・・・2月と言えば節分です。今年の恵方巻は北北西をむいて食べると吉！とのことですよ。

さて今月のひろば通信では、中山地区福祉ひろばの「ワイワイ子育て」と岡田地区福祉ひろばの「あみぬい」・「リフォームの会」の様子をお伝えします！

1.中山地区福祉ひろば 「ワイワイ子育て」



中山地区福祉ひろばでは、子ども同士のふれあい・親子同士の交流の場・楽しいひと時を過ごせるよう、中山地区在住の未就園児とその保護者を対象として公民館と共に「ワイワイ子育て」が開催されています。今年度の活動は7回計画されており、1月18日には最終回として「プリザーブドフラワーづくり」が開催されました。



プリザーブドフラワーとは、特殊な薬品に浸し長期保存ができるように加工されたお花です。保存状態が良ければ5年以上楽しむことができるそうです。

今回は中山地区にお住まいでパリスプリザーブドフラワー協会の講師資格を持つ松下 真理子先生をお招きしました。先生にはあらかじめ加工済みのお花を持ってきていただき、参加者の皆さんがそれぞれお花を選んでアレンジをしました。水やりが不要で、花粉アレルギーの心配がないため、小さい子どもが家にいる多忙のお母さんにはピッタリです。高齢者の方にも気軽に取り組んでいただけるものなので、他の福祉ひろばでも取り入れてみては、と思います。



この事業では、手遊びや親子クッキングなど、親子で一緒に楽しめる行事も開催されますが、中には「乳幼児救急法講座」など子どもの参加が難しいものもあります。そのような時は、ひろば推進協議会の内部団体が当番制で託児を引き受けてくれます。今回の当番は農村女性協議会で、ピアノを弾いたり一緒におもちゃで遊んだりあげたりして子供たちを楽しませていました。

様々な団体さんが子育て支援の場を支えてくださいます。

講座の後にはおやつ当番の民生委員さんによる手作りおやつが振る舞われます。この日のメニューは「豆腐入り白玉」と「フルーツヨーグルト」でした。このような機会を設けることで、お母さん方と民生委員さんなど地域で活動している団体との交流を図ることができるということです。今年度に引き続き、中山地区では来年度も「ワイワイ子育て」は行われます。お気軽にお出かけください。



2.岡田地区福祉ひろば 「あみぬい」「リフォームの会」

1月16日岡田地区福祉ひろばでは、午前中に「リフォームの会」、午後は「あみぬい」が開かれています。それぞれ毎月二回ずつ開かれています。今回は1日岡田地区福祉ひろばに行かせていただき参加者の方とお話をしながら取材をさせていただきました。



「リフォームの会」は着物やスカートを新しいエプロンやバッグ・帽子などにリメイクしているサークルです。型紙をとったりミシンを使ったりなどして本格的な作品を作ります。地元にお住まいで、和裁・洋裁・手芸なんでもござれの方に指導いただき活動をしています。多くの参加者はここで作ったお洋服を着て参加されます。

「できあがるとすごい達成感を感じるよ」と参加者の方から感想をいただきました。

「あみぬい」はもともと「あみあみ」という名前で、簡単なあみぐるみ作りを楽しむ事業だったのですが「もっといろんな作品を作りたい」という参加者の要望に合わせ、今ではそれぞれが編み物・洋裁などのノウハウを持ち寄り好きなものを好きなように作り、思い思いの時間を過ごす場となっています。

この日は、帽子やセーターを編んだりお財布を作っていました。時間内に終わらなかった方も、「自宅のこたつに入りながら作ります」とおっしゃっていました。



最後に、参加者の皆さんと集合写真を撮りました。それぞれこのひろばで作られたお洋服や帽子を身に着け、作品を抱えています。筆者も、雑巾の作り方を指導していただきました。針を持つのは約10年ぶりでしたが、みなさんから針の持ち方や縫い方のテクニックを教わり、どうにか完成させることができました。

岡田地区の皆さん、本当にありがとうございました。

ひろばで作った作品は、2月5日・6日に行われる発表会で展示されます。
是非お越しください！